



広報

うまじ

第300号



平成30年4月1日発行

馬路村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

祝！創刊300号



(馬路村の未来を担う子どもたち)

広報うまじが昭和40年3月に誕生以来、53年余りの歳月をかけて創刊300号を迎えました。
これからも馬路村の歴史、歩みを刻んでいきます。

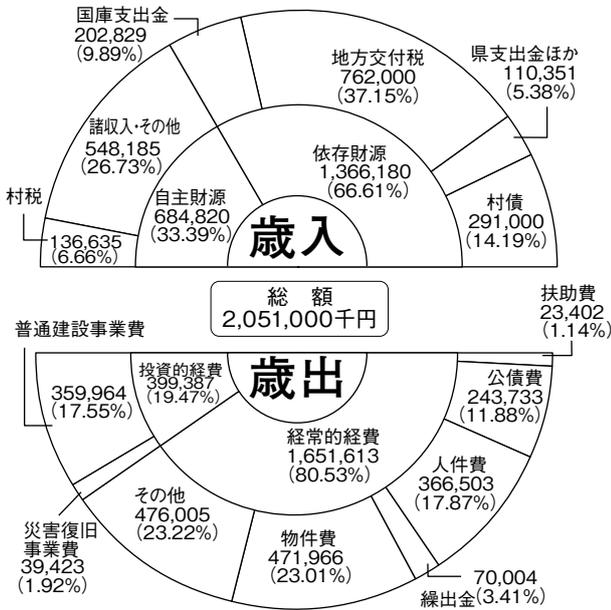
平成30年度一般会計当初予算	2・3
防災特集	4
森からの便り	5
おらが村の学校便り⑧	6・7
馬路ヨン・村のおしどり夫婦に聞く！⑨	8
中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会	9

目次

馬路ふるさと応援隊・魚梁瀬ふるさと応援隊⑩	10
平成29年度 馬路村表彰	11
安田川散歩 (30)	12・13
お知らせ	14
行事予定表	15
村内あちらこちら・村のできごと	16

平成30年度 一般会計当初予算20億5千万円

本村の平成30年度当初予算は、普通交付税において、昨年度まで算定に盛り込まれていた「地域経済基盤強化・雇用等対策費」が日本経済の好循環により廃止されることとなり、大幅な減額が見込まれ、大変厳しい財政状況となりました。そのため、平成28年度、平成29年度予算における各施策をPDCAサイクルにより検証を行い、総合戦略の4つの基本目標につながる予算として、南海トラフ地震対策である「住民の安全と防災に強い村」を実現するための施策や、「住民の健康と福祉の向上」に対する施策においても、職員一丸となって取り組むこととしています。



前年当初比

7.44%増

本年度の当初予算は2,051,000千円で、前年度1,909,000千円との比較では142,000千円(7.44%)の増額となっています。

【歳入】

歳入の状況は、依存財源が1,366,180千円(構成比66.61%)、自主財源は684,820千円(構成比33.39%)となっています。前年度比では、自主財源が127,566千円の大幅な増額となっています。

地方交付税において、普通交付税の算定項目の廃止を受け、56,600千円の減を見込み762,000千円を計上しました。基金からの繰入金は338,782千円で、前年度比111,871千円の大幅な増額となっています。特に財政調整基金で13,226千円、減債基金で50,000千円の増額となっています。地方債についても、291,000千円で前年度比100,400千円の増額となっており、主に移住者用住宅及び地域優良賃貸住宅建築事業によるものです。基金及び地方債の増額については、普通交付税の減額により不足する財源を補充するものであり、今後、財政運営を行っていくためには、基金の適切な管理と有利な起債の活用などによる財源確保が重要となっています。

【歳出】

性質別にみると、経常的経費は1,651,613千円で、前年度に比べ70,026千円の増額となっています。投資的経費は399,387千円で、前年度に比べて71,974千円の増額となっています。また、目的別では、減額した主な費目は衛生費、農林水産業費、教育費であり、増額した主な費目は総務費、商工費、土木費、消防費となっています。

減額の主な要因は、農林水産業費では民有林林道開設事業費の減額及び山地災害防止事業費の減額、教育費では、馬路村教育委員会情報セキュリティ強化対策事業の終了によるものです。

増額の主な要因は、総務費では移住者用住宅整備事業の増、商工費ではふるさと納税返礼事業費の増、土木費では魚梁瀬地域優良賃貸住宅整備事業の増によるものです。

総務課

《取り組む主な事業》

戸籍や選挙、税務、消防・防災対策、財務等自治体としての基礎的な事務を着実につかさどりつつ、職員の資質向上と適正で効率的な行政の推進に努めます。

●防災事業の推進

耐震診断・耐震設計の無料化、耐震改修工事への村補助金の上乗せにより、各家庭の耐震化を強く推進します。また、馬路・魚梁瀬の小学校及び体育館を避難所としてどのように活用し運営していくか、避難所運営マニュアルの作成に取り組んでいます。

地方創生課

●U・Iターン者の獲得
引き続き移住コンシェルジュを配

置し、移住希望者向けウェブサイトを活用した情報発信等により、移住希望者の発掘、移住者の獲得につなげていきます。

さらに、「雇用場があっても定住につながらない」という状況を改善していくため、事業体の理解・協力を得ながら、人材確保に取り組みます。

また、村外の力を活用し、新たな村の魅力を生み出すため、地域おこし協力隊の募集や着任後の隊員の定着に向けた支援を進めていきます。

●若者定住促進事業

結婚・出産・子育て等のライフステージに応じた祝金や、起業等に対する奨励金を交付し、若者にとつて住みやすい活力ある馬路村を目指します。

●ふるさとワーキングホリデー

ユズ収穫の繁忙期に都市部の若者が一定期間滞り、ユズの収穫や加工に従事するとともに、村民との交流を通じて、馬路村の生活・文

化を学ぶ「ふるさとワーキングホリデー」の取り組みを昨年度に引き続き実施します。

●魚梁瀬地区の維持・創生

魚梁瀬地区の維持・創生を図っていくため、魚梁瀬地区における集落活動センターの立ち上げを目指します。集落活動センターを活用しながら、魚梁瀬地区の独自性のある資源を使いながら、新たな取り組みの実施、雇用の場の確保を目指します。

健康福祉課

健康と福祉の向上のために、地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、村民がより住みやすい地域づくりを目指します。

●健康の維持向上

働き盛り世代に健康な状態を維持していただくため、特定健診の受診率向上及び個別アプローチの強化に取り組みます。特定健診の結果から生活習慣を見直すことで、健康的な生活が長く続けられるよう、食生活改善推進協議会・診療所とともに食生活及び生活習慣の改善へ向けたアプローチを行っています。また、健康バスポートを活用した取り組みについて推進していきます。

●みんなで支え合える村づくり

みんなが集える場として各地区で実施している「あつたかふれあいセンター」において訪

問活動の機能充実を支援するとともに、村民参加による新しい支え合いの取り組みとして各地区で行っている「あつたか座談会」の活動を推進します。また、新たな支え合いについても検討を行います。

●子育て支援

妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援するため、健康福祉課・保育所・教育委員会・学校の連携をさらに強化します。

●暮らしやすい村づくり

診療所・社会福祉協議会総務課と連携し、災害時の医療や福祉の備えを強化します。また、地域交通の在り方について、ニーズや課題を整理し、協議していきます。

産業建設課

●社会資本整備事業

インフラの維持・整備について本年度は、村道の擁壁等構造物の点検事業、北路ボックスカルバート設置事業、下直橋外1橋の補修事業を行います。

●国土調査

本年度の調査区域は中ノ川地区で本調査の字名は宿ノ谷、野口、シバキ、河平、北寺、松ヶ崎、上ミ野、東裏になり再調査の字名は野口、シバキ、河平、北寺、松ヶ崎、上三野、東裏が対象となります。

●農業振興

農作業道の開設、農道の維持修繕、村単小規模事業による基盤整備を行い、作業の効率化を進めます。

平成30年度村民一人当たりの一般会計予算額

2,492,102円/人
(20億5千万円/27年度国勢調査人口823人)

消防費 132,400円 中雲消防署(消防・救急) 	農林水産費 199,899円 農道、林道、村単小規模など 	総務費 537,790円 住民票、戸籍、選挙、統計、有線放送、交通安全など 
教育費 159,371円 小中学校、教育委員会 	商工費 162,882円 観光、商工会、納涼祭など 	民生・衛生費 475,560円 保育所、健康診断、ごみ処理など 
災害復旧事業費 47,902円 農地、道路災害など 	土木費 292,292円 村道、河川管理、公営住宅など 	その他の経費 484,006円 議会、借入金返済など 

平成29年度末 基金残高見込み	17億5千万円	平成29年度末 地方債残高見込み	21億9千万円
一人当たり貯金額	2,126,367円	一人当たり借金額	2,660,996円

耕作放棄地が徐々に発生し、担い手不足が深刻化していることから、馬路村農業振興協議会において、担い手対策等の協議を行います。

有害鳥獣対策のシカ防護柵について、一団の農地ごとに大きく囲み、効率的かつ持続性のある設置に向けて、農協及び地域と連携して取り組んでいきます。

また、これまで行ってきた駆除報奨金制度、狩猟免許取得補助、狩猟税補助についても、引き続き県や猟友会等と連携し実施していきます。

●林業振興

森林経営計画に基づき施設業集約化と効率的な路網整備を促進し、森林所得者の山林所得向上につながる基盤整備等

を支援していきます。本年度は、押谷地区、根来谷、西裏地区で間伐等を実施します。さらに、無花粉杉への植え替えを促進するために、皆伐への支援も実施します。

また、森林整備から原木供給、加工流通までを事業体が連携し、林業一体として取り組むことで、地域材の増産及び事業体の経営体質の強化を図ります。木材加工分野においては、出口(消費者)戦略を見据えた多様な流通ルートを整備し、新たな販路開拓や安定的な事業量の拡大を目指します。

●観光・商業振興

平成30年4月21日から「志国高知 幕末維新博」第2幕がスタートし、昨年以上の観光客を高知県に呼び込もうと取

り組んでおり、日本遺産の推進と合わせて、高知県東部観光協議会や観光協会など関係機関と連携して村の観光産業の振興に取り組んでいきます。

ふるさと納税につきましては、返礼品の開発を通して、外商の強化を目指すとともに、地場産品の掘り起こし等を関係団体と連携して取り組みます。

教育委員会

平成30年度から新学習指導要領による教育課程が始まります。新学習指導要領では、主体的に未来社会を切り開く力を持った子どもの育成をめざし、資質・能力の育成と、それを支える知識の理解の質を高める教育の実践が求められています。

また、道徳教育の教科化で感性や良心を培い、自尊心を高める教育を進めます。学校現場では小中一貫教育で複式授業をできるだけ解消し、発達段階に応じた教育を行います。そして、主体的・対話的で深い学びの現実に取り組んでいきます。



自分たちの命は自分たちで守ろう！



～身近な物を使った応急処置研修会～



ストッキングを使った固定頭の止血

南海トラフ地震が、今後30年以内に発生する確率は、70%から80%に上がったと発表されました。一説によると、最も発生するであろう10年の間にすでに突入しており、今後8年以内に発生するともいわれています。

地震発生時、ケガをしないために、住宅の耐震化、家具の固定、窓ガラスの飛散防止フィルムを貼るなどの日頃の備えが重要です。しかし、地震は突然発生しケガをすることもあるでしょう。診療所まで搬送する間や、診療所に行きたくても道路が通れない場合、軽症の場合など、お互いが処置を行い助け合わなければなりません。

そこで、1月から3月にかけて、村内6地区で自主防災組織を主催とした応急処置研修会を行いました。



ラップを使った固定腕の骨折処置

研修会には、地区の自主防災組織、馬路村地域救護協力員（※）である赤十字救急法救急員及び看護師、社会福祉協議会の協力のもと、各地区約20名から30名の住民の方々に参加いただきました。

まず、馬路村地域救護協力員の方の紹介と、トリアージについての基礎的な確認を行いました。その後、止血、傷の手当、骨折の固定など、ストッキングや三角巾、ラップといった身近な物を使って行う応急処置の方法を学びました。

ストッキングを使った頭部のガーゼの固定では、「これやったら簡単やね」「ストッキングは簡単やき、私は三角巾のやり方を覚えたい」と意欲的な意見も聞かれました。

ラップを使った固定では、「簡単やし、暖かいねえ」、「ラップは何にでも使えるき、防災用によくけ置いちよかないかんね」といった備蓄に関する意見も聞かれました。

今回の研修会后、家族で話し合い、自宅の家具の固定を見直し補強したり、備蓄を増やしたという方もいたようです。また、次は重症の時はどうしたらいいか研修会をしたい、避難所の運営訓練もしたいといった意見もあり、防災・減災について考え、次につなげるきっかけになったのではないのでしょうか。

災害時や緊急時にみんなが助け合える関係を日頃から築いておくことが大切です。

皆さんも防災学習に家族で参加してみませんか？



足の骨折処置

※村では、災害時や緊急時に協力していただける、応急処置の知識をお持ちの、各地区の赤十字救急法救急員、看護師及び保健師などの方に馬路村地域救護協力員として登録していただいています。

止血の方法 - 直接圧迫止血法 -

- 1 感染を防止するため、ビニール袋などで手を覆う。
- 2 きれいなガーゼやハンカチなどを傷口に当てる。
- 3 心臓より高い位置に傷口をあげ、強く押さえる。
- 4 止血ができれば、包帯やハンカチなどで固定する。





花粉症の予防について



一雨ごとに暖かくなり、春の訪れを実感する今日この頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今年は花粉の飛散量が多いのか、症状が強く出たり、新たに花粉症になったりする方も見受けられます。去年の今頃にもお話しましたが、また花粉症について一言述べさせていただきたいと思います。

前回、経口免疫療法について書きましたが、今年度は処方するに至りませんでした。やはり、治療に3~5年間かかり、必ず治癒を保証できるものではないことが、浸透しない理由になったかと思われます。加えて、12歳以下には使用できないこともあり、今後は乳幼児にも使用できるようになることが期待されます。学校へ入学する前に、花粉症の治療ができるようになればよいですね。

私自身も花粉症で内服治療をおこなっていますが、最近では服薬以外にも、有用である可能性があるものの研究が進んでいます。少しご紹介します。

Cow's Milk and Immune Function in the Respiratory Tract: Potential Mechanisms

要約：未処理の牛乳中に存在する成分は上気道の粘膜免疫応答を改変する。

アレルギー性鼻炎などの呼吸器疾患を減少させる可能性がある。

ただ未処理の生乳の使用は倫理的な側面から研究が難しい。

Impact of acupuncture on antihistamine use in patients suffering seasonal allergic rhinitis: secondary analysis of results from a randomised controlled trial.

要約：鍼治療は、アレルギー性鼻炎の症状を改善し、抗ヒスタミン剤使用の日数を有意に減少させる。

生乳や鍼治療なども花粉症に有効なようです。馬路村ではユズのさまざまな効能を研究中だと思いますが、アレルギー性疾患に対しても、何か有効性が示されるかもしれません。

花粉症、すなわちアレルギー性鼻炎・結膜炎・咳は軽んじられる傾向がありますが、立派な疾患のひとつです。罹患している人は、しっかりと治療して、この時期を楽しく過ごしましょう。

さて、私からの便りはこれが最後となります。1年間という短い期間ではありましたが、馬路村では、家族も含めて、多くの方に非常にお世話になりました。改めてお礼申し上げます。

今後、休みの日にはゆずはじまる祭りなどに、また遊びに来たいと思いますので、見かけたら声をかけてください。

おらが村の学校便り 52

魚梁瀬小中学校

杉の子発表会 2月4日



『ごんぎつね』の1シーン

ニャーゴ!



3・4年生は、『教科書に出てくる7つの物語をつなげてみよう』という発表をしました。ぼくの朗読の担当は、『ごんぎつね』と『手ぶくろを買いに』です。みんなが聞いてくれたので、これまで一生けん命きやく本を書いてきて良かったなと思いました。

小学3年 森脇勇吾

2月4日、杉の子発表会があつて、ぼくたち1・2年生は、『ニャーゴ』のげきをしました。ぼくは、すごくきんちょうして、早口で言ってしまうました。おどりは上手にできました。ニャーゴスターもきんちょうしました。

小学2年 池上世那

今日は杉の子発表会です。2月に入って寒中……と、大きな声で緊張しながら開会のあいさつをしました。

自分たち5・6年生の発表では、初めにリコーダーを上パートと下のパートに分かれて吹きました。指をどこに置けばいいのか分からなくなり、2回間違えました。みんなも少し間違ったけど、焦らずに最後まで吹けました。

次のプレゼンでは、大きな声ではきはきと言うことができまました。あと、最後の歌も少し小さな声になったところもありました。が、大きな声を出してすぐ良かったです。

小学6年 井上奏磨



「森林鉄道図鑑」の発表

今日は杉の子発表会がありました。始まる30分前から心臓がバクバクしてきました。1時半になって開会式が始まり、発表が近づいてくるとやばかったです。

休憩の10分間でパソコンやプロジェクトターの設置などをしました。職場体験の発表をするときは、前を向いて発表ができなかったため、もうちょっと前を向いて発表したらよかったなあと思いました。

小中全校合奏の「RAIN」もちょっと失敗したけど最後まで弾けてよかったです。

中学1年 近藤悠斗



湯浅建設での職場体験を発表

小中全校合奏の「RAIN」では、小学1年生は傘を持ってダンス!

村を巣立った 中学生

馬路中学校

3月10日、馬路中学校で卒業式が行われ、6名の3年生が巣立ちました。今回の「おらが村の学校便り」では、その卒業生に中学校での思い出や将来の夢を語ってもらいました。
(魚梁瀬中学校は卒業生がいませんでした。)

今までもお世話になった地域の方々、家族、先生、クラスメイトのみんなありがとうございました。これからもこの中学校生活で学んだことを生かし、充実した生活を送ります。本当にありがとうございました。

私は中学校生活で一番部活動が印象に残っています。入部当時は辞めたいと思っていたけど、今は野球部に入って良かったと思っています。野球部に入ってたかったら、こんなに成長できていませんでした。この3年間で、どんなに下手でも毎日努力し続けなければ必ずうまくなるということを学びました。

中学校で学んだことは、礼儀正しくすることや、準備をすることの大切さなどです。高校に入ったら、中学校で学んだ多くのことを生かして、自分を成長させたいです。

中学校生活で一番心に残っていることは、部活動です。特に、最後の選手権大会のことが心に残っています。八束中に4対5でサヨナラ負けしてしまっただけ、とてもいい試合ができました。

中学校生活で心に残っていることは、修学旅行で東京に行ったことです。初めて東京に行きました。東京デイズニールンドや東京ドーム、国会議事堂などに行きました。すごく楽しかったです。高校で頑張りたいことは、勉強と部活です。勉強では、特に実習を頑張りたいです。自分の力になるように、先生の話をしっかり聞きたいです。今までも、ありがとうございます。これからも頑張りたいと思います。



大野 菜月



馬路で成長し、馬路を巣立つ僕たち私たち



木下 太陽



白川 敬佳



山田 咲良



坂本 春綺



小松 鼓

高校でも野球を続けようと思っています。今までに経験したことを生かしていきたいです。私たちを支えてくれた人々への感謝の気持ちを忘れず、一生懸命頑張っていきたいです。今までも、ありがとうございました。

中学校生活で一番心に残っているのは部活動です。キャプテンを務め、とても大変でしたが、いい経験になりました。そして部員が9人になったとき、体調不良などあったけど、全ての大会に出ることができ、改めて仲間の大切さを知りました。

高校で頑張りたいことは、部活動です。野球をしようと思っています。高校では人数も多くなり、中学校とは違った環境になるけれど、しっかりと頑張りたいです。勉強も難しくなるので、授業から理解していけるようにしたいです。

中学校で一番の思い出は、東京に行った修学旅行です。テレビで見られなかったプロ野球選手を見られて良かったです。デイズニールンドにも行ってたくさんのアトラクションに乗れて楽しかったです。

中学校生活で一番心に残っていることは、修学旅行で東京に行ったことです。東京デイズニールンドや国会議事堂に行つて、いろんなことを学びました。とても楽しかったです。高校では、とにかく勉強して、大学に行けるようにしたいです。部活も何かに入り、充実した高校生活にしたいです。今までも、本当にありがとうございます。これからも頑張りたいと思います。

ウマジ 馬路ヨン



国際交流員：ジョン・ワード
(アメリカ合衆国・ノースカロライナ州出身)



皆さん、こんにちは！
今回は私が参加しているボランティア団体を紹介したいと思います。留学推進団体LINK高知大学は海外渡航を推進する団体です。社会のグローバル化が進む中、自身の視野を広げ、自分に力を付けていくことが大切で、人生の幅や選択肢を広げ、より良くするためにも、多くの人と出会い、国際感覚を身に付けられる場が必要です。さまざまな考えを持った人々や異なる大学、情報、人、文化。全てが相互にリンクしていけるような企画作りを目指している団体です。

LINKの活動内容を紹介します。海外に興味がある方の多くが不安や疑問を持っているはずですが、LINKでは、海外留学や、ボランティア、ヒッチハイク経験者のリアルな情報を共有することで、不安や疑問を解消していきます。また、その「情報共有の場」として定期的にイベントを企画しています。

先月、LINK史上最大規模のイベント「ココタビ」を開催しました。イベントのテーマは、「旅」で、旅するように生きる日々を、ここから始めたいという思いで、ココタビになりました。大学生や高校生、社会人、外国人などさまざまな人々が集まり、参加者は60人以上でした。最初に、人生でやりたい100のこと、明日からできる1のことを探すワークショップをしました。自分でリストを書いてから、6人のグループで共有し、似た考えや希望を持つ人と話し合い、お互いに応援し合うことができてよかったです。次に、世界地図の上でワークショップをしました。床一面の世界地図を歩く「旅」の形で、行ってみたいところ、やりたいことを地図に書きながら、旅の途中に人に出会うことが目的でした。私はスペインとモロッコに集まっていた人たちと夢の旅行計画について話ができてとても面白かったです。ココタビでは、好奇心旺盛な高校生や、偉大な夢を抱く大学生、そして世界一周した人にも出会え、一生忘れない貴重な経験になりました。

今後もイベントを予定していますので、海外旅行または国際交流に興味があればご参加ください。イベント情報はFacebookで掲載していますので、「留学推進団体 LINK」を検索してフォローしてみてください。

村のおしどり夫婦に聞く！ ⑨

このコーナーでは、馬路村の出会い・結婚の実態を知るため、村内在住のおしどり夫婦にお話を伺っていきます。



魚梁瀬地区の井上真共さん(39歳)
・馬路村役場勤務・魚梁瀬出身)
佐織さん(42歳・馬路保育所勤務
・室戸市出身) 夫妻

これから結婚を考える方へのアドバイス

(真) 思ったが吉日、善は急げ、犬も歩けば棒に当たる、案ずるより産むがやすし…かなと。

ただ、プロポーズはちゃんとした形でおかないと一生言われる(笑)

〇出会いと お互いの印象

(真) 初めて会ったのは、私が大学生、妻が馬路で住み始めて2年目のこと、魚梁瀬での青年団の集まりだったと思います。その時は、お互い何の意識も持ちませんでした。

次に会ったのが、役場に同期として入庁したときでした。初めて会ったときと印象が違うので、(初めて会ったとき、私は結べるほどの長髪男、妻には暗い(おとなしい)印象があった)しばらくたった後「あ!?会ったことある!」とお互いに思ったほどでした。(笑)

〇馬路村での結婚生活

(佐) 2人の子どもにも恵まれ、楽しく暮らしております。町から遠いことが逆に生活にメリハリがあって良いかなと思います。

(真) 週に1度の買い出しや、ショッピング、その度の親子の長距離ドライブ。長男もこの春から中学生となり、時のたつのは本当に早いもので、気が付けば結婚して10年以上たちました。



中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会

～中芸地域の日本遺産魅力発信便り vol.8・9 合併号～



日本遺産
Story #051



ロゴマークができました！！

「中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会」のロゴマークが完成しました。このロゴマークは、これから日本遺産認定のPRツールとして、日本遺産関連の事業に使用するとともに、商品化も検討中です。

皆さまに愛されるロゴマークとして、これから活用をしていきたいです。（※このロゴマークを使用したい方は、規定のガイドラインがありますので、事務局までお問い合わせください。）

北川村観光びらきでゆずレシピをお披露目しました！

3月4日（日）、北川村観光びらきにおいて、日本遺産大使・村田吉弘氏の考案したゆず料理の大試食会を行いました（平成29年度日本遺産魅力発信推進事業）。村田氏の考案した「ゆずの粕漬け」と「ゆずのドレッシング」のレシピをモネの庭・シェフが再現！1,000試食をご賞味いただきました。

春を迎えたモネの庭に、日本遺産ロゴマークの入ったのぼり旗がはためきました。「ゆずの粕漬け」は柚子酢のきいた酢飯にのせて、「ゆずのドレッシング」は焼きたてパンにつけて1,000食を提供しました。

試食いただいたお客さまからは、「ゆずの粕漬けは、初めて食べた。とてもおいしかった。」「どうやってつくるの？」や、「ゆずのドレッシングは、店で販売している物よりもゆずが効いているね。」といった意見が聞かれました。

中芸の日本遺産を知っていただく一つの方法として、これからもゆずレシピを活用していきたいと思えます。ご協力いただきました北川村観光協会及び北川村の皆さま、ありがとうございました。

なお、この事業は、日本遺産大使による新たな食品開発を行い、県内だけではなく全国にその魅力を発信し、日本遺産認定となったストーリー及び構成文化財の認知度の向上を図ることを目的に行われました。



問い合わせ：中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局
Tel.0887-30-1865 Fax.0887-30-1866

facebook



馬路ふるさと応援隊

(木工) ① 隊員 大塚季里亜



光に当てて乾かします。



↑型に沿って丸める様子

最近ようやく暖かくなり、春の訪れを感じられるようになりました。馬路村に来た頃はあまりの寒さに頭を抱えましたが、なんとか冬を越せて良かったです。虫たちが這い出てくる季節になるので、それはそれで不安なのですが、自然溢れる馬路村の景観がどのように変化していくのか注目していきたいです。

ところで、私は12月から約3カ月間、岡林業作さんの指導の下、曲げわっぱ作りを学んできました。せんえつながら、この場を借りて曲げわっぱ作りの流れについて、簡単にご紹介させていただきますと思います。分かりにくい点もあるかと思いますが、曲げわっぱについて少しでも理解を深めていただければ幸いです。

①専用機械を使って、木板の幅・長さ・厚さをそろえます。

②鉋(かんな)で木板の先端部分を削り、全体に電動やすりをかけて表面の凹凸をなくします。

③熱湯に木板を浸します。柔らかくなったら、必要な型に合わせて木板を曲げ、癖をつけた状態で日

④カッターで木板の角を取って丸みをつけた後、専用ボンドで端と端を貼り合わせ、輪っか状にします。

⑤ボンドが固まったら、木板をガスの火で炙り、形を整えます。

⑥継ぎ目にくっつか穴を開け、縫うようにサクラの皮を通します。



↑サクラの皮を通しての様子

⑦外側・内側にやすりをかけて滑らかにしたら、曲げわっぱの醍醐味、側面の部分は完成!

⑧底の部分になる木板を鋸で大まかに切ります。

さらにベルトサンダー(回転するやすりの機械)で丁寧に削って側面の輪の形とぴったりはまるようにしたら、側面部分と底部分をボンドで接着します。



↑側面とふたを貼る様子

⑨ふたになる部分も同じ要領で作れば、簡易曲げわっぱの完成です。

実際はもっとたくさんの方の工程があり、シンプルな見た目とは裏腹に、どれも難しく複雑な作業です。ただ、自分の中で少しずつ成長している実感があるので(手前味噌で恐縮ですが)、この調子で一人前になれるよう精進します。

そして4月からは、窪田保幸さんにくりものを教わっていきます。また、もう一人のふるさと応援隊(木工)が移住予定なので、楽しみにです。

魚梁瀬ふるさと応援隊

20

「やなせのひなまつり開催しました」 隊員 西尾明子



3月1日から11日まで魚梁瀬丸山公園において「やなせのひなまつり」を開催しました。今年は高知県東部の協働事業「土佐の町家ひなまつり」にも参加し、ひな人形の展示以外のイベントも企画しました。そこで誕生したのが、魚梁瀬ならではの「森林鉄道ひなまつり列車」です。

貴重な車体を傷つけないよう工夫しながら飾りつけ、手作りのつるし飾りは中から見ても外から見ても華やかでした。そして、列車の中のひな人形たちは心配していた列車の揺れにも動きません。喜んでくださったことができました。

もう一つ珍しい企画として「魚梁瀬未来郵便」を実施しました。お預かりした封筒には春の切手を貼り、1年後に魚梁瀬郵便局から風景印を押して投函することになっていきます。当日の写真も同封できるようにしました。未来を思いながら書いた手紙が届くときに、魚梁瀬のことも思い出してもらえたらと思っています。

他にも、杉の家の和室と温泉ホールには地区の皆さんからお借りしたたくさんの人形が飾られ、つまみ細工体験やひなまつり弁当の販売など盛りだくさんなイベントとなりました。村内外から多くの人に来て楽しんでいただくことができました。このたびは、「やなせひなまつり会」として一緒に企画・準備・運営をしてくださった方々、そして協力・応援してくださいました。ありがとうございました。



応援隊の連絡先 魚梁瀬多目的施設内 TEL: 0887-42-2001
FAX: 0887-42-2007 E-mail: o-yanase@mc.pikara.ne.jp
☆ Facebook 「魚梁瀬ふるさと応援隊」 で検索してください ☆

平成29年度 馬路村表彰

平成30年3月26日、馬路村コミュニティセンターにて、馬路村表彰規定により2名の方が表彰されました。

農林業振興功労



小松 博さん(相名)

小松博さん(64)は、平成15年11月から平成30年3月まで農林業振興の推進のため、14年間馬路村森林組合の理事として本村の森林・林業の振興と発展に寄与されました。平成15年11月森林組合専務理事に就任して以来、森林整備に積極的に取り組み、新植や除間伐などを行ってきました。近年では、不在村地主が多くなり森林の境界がわからなくなる現状を憂い、国土調査を通じて多くの境界を確定するなど、森を育む環境づくりに貢献されました。また、造林や間伐の必要性を説くとともに、組合員の負担を抑えるために県や村の行う事業を積極的に取り入れ団地化を促進するなど、民有林の整備促進に取り組んできました。

加えて、昭和60年には、林業の担い手育成や林業技術向上のため馬路村林業青年クラブを結成し会長に就任。平成5年からは、林業に関わりがない一般の方でも参加できるように丸太切り、木登り等を競う山師達人選手権大会を開催し、体験による林業周知に努めるなど、馬路村を紹介する一役を担ってきました。

公共福祉功労



下村 敏夫さん(奈半利町)

下村敏夫さん(80)は、魚梁瀬ダム建設前の森林鉄道時代に、魚梁瀬営林署購買物資部の注文を受けて、野菜や肉、加工食品等を中心に釈迦まで運搬し、荷物を釈迦で森林鉄道に積み込み、営林署職員に引き渡しを行っていました。魚梁瀬ダム建設後は、森林鉄道が廃止され、新たに道路整備が完成すると、魚梁瀬営林署購買物資部の荷物を自家用車で魚梁瀬まで配達を始めました。その後、平成24年1月に体調を崩し、魚梁瀬小中学校給食の配達業務を辞めましたが、その後、週3回北川村の一部、魚梁瀬に移動販売を再開されました。

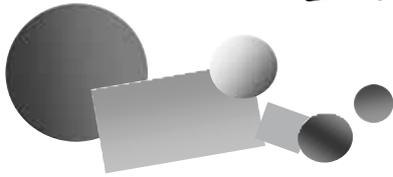
魚梁瀬小中学校の給食食材を約40年以上にわたり、風雨の激しい日、降雪の日も、休むことなく毎日魚梁瀬まで届けられ、また、魚梁瀬地区内の移動販売では、移動手段のない方や、高齢者の自宅まで出向き販売するとともに、動けず、返事がない高齢者の異変に気づくこともあるなど、住民の安否確認や一人暮らしの話し相手等の役割も担っていただきました。

約半世紀以上にわたる移動販売をとおして、魚梁瀬地区住民の食と健康を支えるとともに、小中学校給食食材配達の重責を担った功績をたたえ、公共福祉功労表彰が送られました。

安田川散歩 (30)

— あの人 あの情景を訪ねて —

文・構成 清岡博之
写 真 安岡一成



なんでこんな山里に映画会社があるの？ 今回は東京映画社（本社・東京都港区赤坂）のサテライト兼スタジオを安田町中山地区に訪ねます。

あるきっかけで7年前、4歳まで暮らした生まれ故郷の高知県に突然意識を支配され「まず

山里に映画社 東京映画社

安田町中山地区にサテライトオフィス

上/広くはないが照明を加減する工夫を施した撮影スタジオを構えている。天然大径木を伐るために杉(そま)らが使ったノコギリを記録するための撮影をおこなっている

◇ 高知でも映像を
そうこうしているうちに高知でも仕事ができるのではと思いい立ち社員の賛同も得て平成25年、県東部のほぼ中心地に位置する安田町中山地区に会社のサテライトオフィスを構えました。休園していた旧中山保育所を借り受けたのです。県中心部ではなく東部を活動エリアとして選んだわけをこう続けます。「山地と海岸との距離が近い。30分も車を走らせればニホンカモシカ、30分も船を出せばクジラと、都

は高知市に居を構えた」とその人は言います。(株)東京映画社の社長 百々立夫(どどたつお)さんです。62歳のときでした。「先祖に呼び戻されたかのようにだった」と振り返ります。



下右/Image Works Village (株)東京映画社の門扉が訪れる人を迎える
左/かつての保育広場。この一角を区切って視聴コーナーを設けてある



会では考えられない自然環境にある。雄大な岬も鼻の先だ。森林鉄道など歴史遺構もあちこちに姿をみせている」

東京で映像・グラフィックの制作やコンサート等のイベント運営を業務とする会社はここ安田オフィスにもカ

メラマンとスタッフの2名を常駐させます。県の観光大使を務める百々さんも頻繁に訪れ撮影や編集をこなします。

◇ 地域を Village に

百々さんは安田オフィスを含め周辺地域に教育機関や自治体などの一部機能がゆるやかに集まり、映像制作をベースとした個性豊かで創造的な作品を発信していく Village (村・地域) として育てたいと考えています。その象徴が「Image Works Village」の名称です。わたしたちも大きな刺激を受けます。

映像を視聴することも可能。事前に連絡を TEL3011769

空中撮影もお手のもの

上/ 小型ドローン搭載のカメラからみる安田川の4k動画映像。空からの景色が河口に向かって滑るように展開していく。大野台地が安田町側にでっぱり、川を蛇行させているようすがよくわかる＝視聴コーナーで。円内はドローンを手にする大倉カメラマン



左上/テレビモニター画面で確認しながら画像の編集作業をおこなう。膨大な画像資料を整理し保管するハードディスクを積んである



下/高性能カメラでとらえた画像は肉眼では確認しづらい微小な表情を目視することができる。ノコギリ歯についての鍛造時の熱の変化も読み取ることができる



下/形状も大きさもちがうノコギリが並ぶ。北川村の山田さんが所有する4尺5寸のノコギリが最長

お知らせ

職場の健康づくり[チャレンジ表彰]

参加無料

良質なサービスや事業(産品)は健康な職員から始まります

健康づくりの取り組み(または新たに取り組みを始める)事業所を認定し表彰します

☆当たり前の取り組み大歓迎

労働安全週間などポスターを貼った / 血圧計を設置 / 健診や受診を勧めた / 予防接種を受けた(勧めた) / イベント開催や参加(花見・キャンプ・スポーツ大会)等々

【条件】

- 2名以上従事している(事業主など役員を含む)
- 健康づくりの担当者を決める
- 従業員にチラシやパンフレットを配布することができる
- 健康診断(特定健診など)やがん検診を勧める(声かけする)
- 事業所内は分煙または禁煙とする(たばこの煙や匂いがしないよう配慮する)

【流れ】

申し込み → 認定証交付 4月～ → 取組内容の提出 12月末 → 表彰 翌年2月

<実施要領・申込書式ダウンロード>

<http://www.pref.kochi.lg.jp/sosiki/130111/20180219000511.html>

<問い合わせ先> 安芸福祉保健所 健康障害課 TEL:34-3177 FAX:34-3170

「全国共通人権相談ダイヤル みんなの人権110番」

法務省の人権擁護機関では、法務局の人権相談の電話番号を全国で統一し、相談しやすい環境を整えています。

○電話番号(ナビダイヤル)
(ゼロゼロみんなのひやくとおぼん)
0570-003-110

○時間
平日の午前8時30分～午後5時15分

○取扱内容
差別待遇、暴行・虐待、セクハラ・パワハラ、いじめ・体罰、名誉毀損・プライバシー侵害等人権問題に関するあらゆる相談

スポーツ安全保険®

対象となる事故 **団体活動中の事故 / 往復中の事故**

保険期間 平成30年4月1日の午前0時から平成31年3月31日午後12時まで

4名以上の団体・グループで加入ください。

公益財団法人 **スポーツ安全協会 高知県支部** 〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-52
(公財)高知県体育協会内 高知県庁西庁舎1階

TEL **088-820-1755** 電話受付時間 午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く。)

スポーツ安全保険 検索

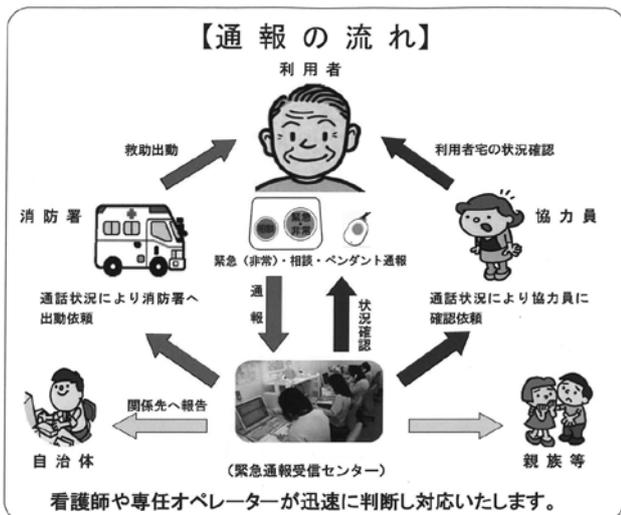
インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

携帯電話から資料請求ができます。



こんな時、緊急通報装置のボタンを押してお知らせください。

～緊急時～

- ◎ 体調が悪い、胸が苦しい、頭が痛い、気分が悪い、怪我をした、転んで起き上がれないなど
- ◎ 火災、浸水、土砂崩れなどの被災時に
- ◎ 泥棒、詐欺などの不審電話

～相談～

- ◎ 健康について
- ◎ 親族、ヘルパー、病院、タクシーに連絡してほしい
- ◎ 困っているけど、誰に聞けばいいかわからない
- ◎ お話したい

緊急通報装置の貸与について

村では、ひとり暮らしの高齢者や障害者及び高齢者世帯の方を対象として、急病などの緊急時や利用者の相談等に対応するために、緊急通報装置を貸与しています。

緊急通報装置とは、家に設置した機械本体やペンダントのボタンを押すことにより、村が委託した会社から通報され、専門職員から状況確認を行い、状況により関係機関(消防など)や協力員(親族・民生委員など)に連絡を行います。

緊急通報装置 (機械本体とペンダント)



また、定期的に職員から行動確認や様子伺いの電話を行っています。

貸与費用は無料ですが、別途通信費が必要です。

詳しい内容につきましては、役場健康福祉課までお問い合わせください。

4月・5月 むらの行事予定



4 月	
1	日 馬路村観光開き・魚梁瀬桜まつり (魚梁瀬丸山公園) 11:00~15:00
2	月
3	火 馬路村長選挙及び馬路村議会議員補欠選挙告示日 有害物収集
4	水
5	木 入園式 (馬路、魚梁瀬保育所)
6	金
7	土
8	日
9	月 新任式・始業式・入学式 (馬路・魚梁瀬小・中学校)
10	火 リサイクルごみ収集
11	水 魚梁瀬小中学校PTA総会 (魚梁瀬多目的施設) 乳児健診 (奈半利町保健センター) 12:30~
12	木
13	金 人権相談所 (就業改善センター) 10:00~15:00 行政相談所 (就業改善センター) 10:00~12:00 古紙収集 (魚梁瀬)
14	土 職域ソフトボール大会
15	日
16	月
17	火
18	水 馬路・魚梁瀬中学校修学旅行 (関東方面) (~21日)
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月
24	火 馬路地区PTA総会 (就業改善センター) リサイクルごみ収集
25	水 魚梁瀬地区PTA歓迎会 (魚梁瀬多目的施設) 1歳6カ月児・3歳児健診 (奈半利町保健センター) 12:30~
26	木
27	金 古紙収集 (馬路)
28	土 参観日 (馬路小・中学校)
29	日 昭和の日
30	月 振替休日

5 月	
1	火 有害物収集
2	水 春の遠足 (馬路小学校・魚梁瀬小学校)
3	木 憲法記念日
4	金 みどりの日
5	土 こどもの日
6	日
7	月
8	火 リサイクルごみ収集
9	水 乳児健診 (奈半利町保健センター) 12:30~
10	木
11	金 キャリア教育講演会 古紙収集 (魚梁瀬)
12	土 中芸地区中学校夏季体育大会 (~13日)
13	日
14	月
15	火 第31回馬路地区スカッシュバレーボール大会 (~16日)
16	水
17	木
18	金
19	土
20	日
21	月
22	火 リサイクルごみ収集
23	水 1歳6カ月児・3歳児健診 (奈半利町保健センター) 12:30~
24	木 馬路・魚梁瀬小4・5年生合同宿泊研修 (~25日) (室戸青少年自然の家)
25	金 古紙収集 (馬路)
26	土
27	日
28	月
29	火 人権参観日 (馬路小・中学校)
30	水
31	木

人口 月中異動	増 加				減 少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
2月	0	2	0	2	0	4	0	4	898
3月	1	10	0	11	1	14	0	15	894

馬路 720人、334世帯
魚梁瀬 174人、91世帯
(外国人含む)

馬路村特別村民 10,925人
(3月31日現在)



村内あちらこちら



2月4日 杉の子発表会（魚梁瀬小・中学校）



2月5日 豆まき（馬路保育所）



2月22日 魚梁瀬地区卓球大会（魚梁瀬小・中学校体育館）



3月2日 お別れ遠足（馬路小学校）



3月27日 馬路村文化協会交流研修会（自由民権記念館）

村のできごと

2月

- 2日 豆まき（魚梁瀬保育所）
- 4日 杉の子発表会（魚梁瀬小・中学校）
- 5日 豆まき（馬路保育所）
- 9日 馬路小学校学習発表会
（就業改善センター）
- 22日 魚梁瀬地区卓球大会
（魚梁瀬小・中学校体育館）
- 23日 生活発表会（魚梁瀬保育所）

3月

- 1日 魚梁瀬地区ひな祭り（丸山公園内）
（～11日）
- 2日 お別れ遠足
（馬路小学校、魚梁瀬小・中学校）
- 3日 生活発表会（馬路保育所）
- 10日 馬路中学校卒業式
- 18日 魚梁瀬小学校卒業式
- 20日 馬路小学校卒業式
- 24日 馬路保育所卒園式
ピザ作り体験キャンプ
（魚梁瀬オートキャンプ場）
- 25日 魚梁瀬保育所卒園式
- 26日 庄屋祭・鬼門堂祭・村表彰
- 27日 馬路村文化協会交流研修会
《高知の文化を学ぶ春の旅》（高知市）

編集後記

先日開催された、「ピザ作り体験キャンプ」に参加してきました。昨年は、魚梁瀬冬のキャンプでしたが、今年は卒業生が居なかつたので、魚梁瀬オートキャンプ場にできたピザ窯を使った、ピザ作り体験キャンプを開催しました。当日は16人の参加があり、初めてのピザ作りに戸惑いもありましたが、上手に焼けておいしくいただきました。皆さんも機会があればキャンプ場のピザ窯を使ってみてください。

(H)

編集発行 ▶ 馬路村教育委員会

住所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村大字馬路443
TEL 0887-44-2216 FAX 0887-42-1010
E-mail umaji-v@kochinet.ed.jp

印刷 ▶ 株式会社 高知新聞総合印刷